

## ★Highlight of BOYS★

今大会の男子は混戦の予感がする。今春のインターハイ岐阜県予選では、岐阜農林高がディフェンス力を武器に相手をすべて 50 点台に抑え、3 戦全勝で全国大会に出場した。しかし、富田高、美濃加茂高、中津川工高ともに善戦する場面があり、どちらに勝利の女神が微笑んでもおかしくないゲームばかりであった。岐阜農林高が新人戦・インターハイ・選抜の 2 年連続の 3 冠を成し遂げるのか。または、2007 年選抜大会で初のベスト 4 入りを果たして以来、強豪の常連となった富田高が遂に全国大会への出場権を掴むのか。はたまた、2009 年以降、全国大会出場を逃したことの無かった美濃加茂高が昨年の雪辱を果たすのか。新人大会・IH 岐阜県予選ともに 4 位に甘んじた中津川工業高が意地をみせるのか。今年も楽しみな大会になりそうだ。

# A

今年も注目なのが第 1 シードの岐阜農林高。強烈なキャプテンシーでチームを引っ張る #4 熊崎(下呂中)を中心に、バスケットボールに直向きに取り組むことのできるチームだ。厳しい練習と基礎基本の徹底でチーム力が確実に成長している。更にディフェンスに磨きをかけてきたようだ。鋭いドライブとシュートでチームに貢献してくれる #6 大坪(中山中)、そして 190cm という体格ではあるが、オールラウンドな動きのできる #5 増本(大垣東中)に注目し、新人戦・インターハイと一段一段を上がってきた 3 年生の集大成と共に、今大会も王者の意地を見せてもらいたい。

対抗馬はインターハイでシード権を獲得した岐阜工業高だろう。体力や精神力、社会性を養い、幅広い人間性を身につけることを信条としているチームだ。スピードとドリブルワークのある #14 中西(笠松中)を中心に、粘り強いディフェンスからのファストブレイクに取り組んできた。そして、何といても注目したいのが高校からバスケットボールを始めた 180cm #18 福浦(笠松中)である。ジャンプ力と走力・シュート力を持ち合わせておりペイントエリアでの活躍を期待したい。また、東濃地区 4 位の中津高も「心技体」の信条の元、#5 西尾(神坂中)のディフェンス力と 3P の確立の高さ、#6 丹波(第一中)の気合いの入ったディフェンス、#8 岡元(第二中)の勝負どころで放つシュート率に期待し、チームの団結力、技術と精神力を最大限に発揮して勝利を目指してもらいたい。高い集中力で臨んでくるのは岐阜高だ。脚力を活かした攻守における要 #4 杉山(桜丘中)と、#5 片桐(清流中)のドリブルとパスワークでチームを引っ張ってってもらいたい。

# B

第 4 シードの中津川工高は、今年も粘り強いディフェンスから、トランジションを早くした走るバスケットが目玉だ。堅実なプレーをして、チーム一丸となって 1 試合 1 試合を大切に戦う姿が楽しみだ。#4 河合(福岡中)がスピードとディフェンス力を生かしてチームをリードしている。#5 勝野(第一中)は国体予選会を経験し、3P シュートとドライブインに更に磨きがかかってきた。得点力のある #6 宮嶋(福岡中)の活躍で、目標である全国大会出場を目指すだろう。

虎視眈々とパッシングで一気に頂点を目指していきたいのが、西濃地区 1 位の座を守る大垣工高だ。Play Hard. Play Smart. Play Together. を合言葉に粘り強いディフェンスからミスを誘う。#4 田口(大垣東中)の独特のリズムで緩急からのドライブと、正確な 3P シュートを武器に得点を重ねながらゲームを組み立てる。#5 山口(星和中)は、力強さとガッツ溢れるプレーでチームを支える。190cm の長身を活かした #6 林(城南中)は、リバウンドとゴール下の得点・ブロックショットでチームを勝利に導くだろう。

対抗は、飛騨地区 1 位の高山西高だ。この夏から精神面からも鍛え直してきた。#18 熊崎(小坂中)はアウトサイドだけでなく、インサイドでも得点がとれるオールラウンドプレーヤーだ。また #12 青木(萩原南中)は一年生ながら国体メンバーにも選出された注目のプレーヤーである。責任とプライドを忘れることなく、チーム一丸となって取り組む姿が、今大会の台風の目となって、D ブロックに波乱の展開を予感させる。また岐阜地区 3 位の岐阜商高の #4 祖父江(真正中)の高いフットワークとドリブルで相手の翻弄し、#8 大塚(羽島中)のシュート力で悔いのないゲーム展開を期待する。

# C

屈辱の H26 年度。昨年、全国大会出場を逃した第 3 シードの美濃加茂高は、今大会で起死回生なるか。「限りなき飛躍」を信条に、全員で声を出し、全員で走り、全員で高め合い、最後まで全力でプレイし続ける事から鍛え直してきた。ベンチ外メンバーも含めてチーム全員で勝ちぬく決意は固い。ディフェンス力でも外も攻めることのできる攻守に長けた #4 川守(泉中)と、どこからでも狙える左利きのピュアシューター #5 小栗(志段味中)、リバウンドに対する執念はチーム No.1 の #8 櫻井(東安中)を中心に全員バスケで優勝を目指してもらいたい。

対抗するのは、第 6 シードの長良高だろう。地道にコツコツと得点を狙ってくるチームだ。ガードの #4 田村(岐大附中)はガッツ溢れるプレーでチームを引っ張り、#5 竹田(精華中)は堅実なプレーを見せるだろう。初戦から美濃加茂高への挑戦権を狙っているのが東濃地区 2 位の中京高だ。仲間への声掛けや心配りのできる #4 黒木(陶都中)を筆頭に、得点だけでなくリバウンド力を武器としている #5 谷岡(泉中)、入りだしたら止まらない 3P シューターの #6 山内(泉中)を中心に、シード校撃破を狙う。更に、その両チームの勝者と当たるのが、西濃地区 3 位の大垣商高か、中濃地区 3 位の関商工高である。大垣商高は、#5 臼井(穂積中)を中心に、3P やドライブで得点を狙っていくであろう。関商工高は、#4 田原(旭ヶ丘中)と #5 水野(桜ヶ丘中)を中心に、攻守共に積極的にプレーで勝ち進んでももらいたい。

西濃地区 2 位の大垣日大高は、順当にいけば 4 回戦で美濃加茂高とあたる。感謝の気持ちを持つことを大切に取り組んできた。#4 大石(大垣東中)は速攻の要として、コート縦横無尽に駆け巡り、#5 川島(大垣西中)をチームの精神的な支えとして、目の前の試合を一戦一戦集中して全力で戦っていくだろう。岐阜高専は、突出した選手はいないが、選手がいかにチームに貢献できるかを考え、ベンチに入れなかった選手も含め全員で挑んでくる。#4 岩崎(大野中)は持ち前のキープ力とディフェンス力でゲームを優位にコントロールし、チーム唯一のビッグマンである #18 大平(東安中)はその高さを生かしてゴール下を制したい。

# D

悲願の初優勝を狙っているのは第 2 シードの富田高だ。ホールコートディフェンスやパス&ランを中心に躍動感のあるバスケットで優勝を目指す。またチーム一丸となって戦う雰囲気も注目だ。大怪我を乗り越えた #4 津谷(大垣東中)の強い精神力と、正確なシュートと堅実なディフェンスで変幻自在のパスワークや読みの鋭いディフェンスは必見だ。勝負強いシュートなどのセンスの良さが随所に光る富田の司令塔 #8 林(大垣東中)、圧倒的なフィジカルでリバウンドを量産する大黒柱 #7 中川(大垣東中)、一年生ながら類まれな身体能力と爆

発的なシュート力を持ち、チームを勢いに乗せる起爆剤 #14 土屋(揖斐川中)の活躍から、富田高が表彰台の頂点に登る姿が見られるのか。

岐阜地区 3 位の岐阜総合高は、ガード #9 浅野(神戸中)のコントロール力、フォワード #6 川瀬(穂積中)の得点力、センターの 191cm #7 江藤(東安中)の高さを軸にチームで守り、チームで攻める全員バスケットで打倒富田高に燃えている。大垣東高は、シード校としての意地をみせられるか。ゴールを守る意識づけとハーフコートディフェンスに力をいれ、全員で守り全員で点を取りに行くバスケットの展開を期待したい。体格を生かしたドライブや正確な 3P など多彩なプレーを魅せる #4 滝沢(興文中)が攻撃的なゲームメイクでチームを勝利に導き、#5 名倉(西部中)の安定したシュートとスピードを生かしたドライブで得点を量産し、#6 村瀬(大垣北中)の闘志溢れるプレーでリバウンドやブロックショットで、挑戦者として思い切りの良いプレーを見せてもらいたい。中濃地区 2 位の可児工高は、5 メンアウトのフルコートに展開するオフェンスとチェンジングディフェンスを武器に 3 年生最後の大会に全精力を傾けて戦うだろう。全員がアウトサイドとインサイドのプレーができるのが特徴で、ヨーロッパスタイルのオフェンスとアメリカレジェのマッチアップディフェンスの出来が上位進出の鍵となるだろう。3 年生全員が頑張ってきたことをコートでどのように表現するのかベンチ采配にも注目だ。